



吉里 浩恵 議員

第3期高島市総合戦略を推進するための新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用について

問

国の制度を活用するにあり、積極的に取りにいく姿勢で臨んでいるのか

答

地域課題の解決や将来に向けた施策の推進に有効な手段と認識しており積極的に活用していく姿勢で取り組んでいます

問

新政権になり地方重視の予算が拡大されると見込まれるが、国の動向捉える専門収集体制というものは今後強化される考え方はあるか。

答

内閣府地方創生推進事務局から県を通じて、その都度情報提供を受けていたところですが、県との連携を密にとりながら、情報収集に努めたいと考えています。

答

内閣府地方創生推進事務局から県を通じて、その都度情報提供を受けていたところですが、県との連携を密にとりながら、情報収集に努めたいと考えています。

問

地域課題の解決や将来に向けた施策の推進に有効な手段と認識しており積極的に活用していく姿勢で取り組んでいます

答

地域課題の解決や将来に向けた施策の推進に有効な手段と認識しており積極的に活用していく姿勢で取り組んでいます。

問 効果検証（KPI）の達成状況は。

答

内閣府地方創生推進事務局から県を通じて、その都度情報提供を受けていたところですが、県との連携を密にとりながら、情報収集に努めたいと考えています。

問 未達成項目が多かつたことについて、検証を行い、推進本部と推進幹事会が出した課題点は一致していたのか。

答

推進本部は年2回開催し、前年度の評価検証や進捗状況の報告を行っています。推進本部は年2回開催し、前年度の評価検証や進捗状況の報告を行っています。

フつのプロジェクトを実施し、目標値を達成できた項目もありますが、達成できなかつた項目もありました。

問 未達成項目が多かつたことについて、検証を行い、推進本部と推進幹事会が出した課題点は一致していたのか。

答

推進本部は年2回開催し、前年度の評価検証や進捗状況の報告を行っています。推進本部は年2回開催し、前年度の評価検証や進捗状況の報告を行っています。

推進本部は年2回開催し、前年度の評価検証や進捗状況の報告を行っています。

マネジメント体制としてある推進本部、幹事会は、それぞれの役職の職員が集まって、行う会議で情報共有をしています。また、担当窓口の総合戦略課が、地方創生交付金を活用して各事業を行っている原課と、進捗状況に問題があれば、相談を受け、担当レベルでやり取りをしており

その他の質問

- ・高島市民病院の看護師確保の現状と今後の取組について